

令和6年度 第3回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年9月9日（月） 午前9時から午前10時30分まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、高木 邦子、松下 克幸、今中 秀裕、中川 清子、
中村 将義、杉山 晴康、佐原 寛美、竹山 有希
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター長）
- 6 学 校 大石 泰三（校長）、平野 晶子（教頭）、
舩越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、高木委員が務める旨の発言があり、
全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
（1）学校評価と課題の改善策について
（2）支援活動の具体化について
- 11 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、
会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校評価と課題の改善策について （2）支援活動の具体化について

■ 熟議

- 7月に行った自己評価の結果をもとに、職員で話し合いを行った。更に学年団、部会ごとに会議を行って課題を共有し、重点的に取り組む項目についての具体的な手立てを作成した。（CS担当教職員）
- 先生方の評価が少し厳しいのではと感じる。特に「聞く・深める」の項目について生徒の評価と大きな乖離がある。このギャップについてはどう考えているか。（高木委員）
- 子供たちはやっていると思っていても、先生方はもっと高いところを求めているという違いが乖離を生んでいると思う。印象が悪い行いがあった場合、どうしてもその印象が残ってしまうということもある。評価にあたって明確な基準があるわけではないので、もっとできるのではないかと感じている気持ちが表れているのではないかとと思う。（CS担当教職員）
- 先生方が思い描く理想の状態と、生徒たちが考えている理想が違うのではないかと感じるが、先生方の理想は子供たちに伝わっているのか。（中村委員）

- 子供たちは飽きやすく、集中力もそんなに長くもたない。子供たちへの伝え方を簡略的にするなど、聞いてもらうための工夫が必要だと感じる。(松下委員)
- 学校が考える「聞く」で重要なのは、子供たちの話を子供たちが聞くということ。子供たちのいろんな考えを子供たちが受け止め、広めていく。自分の意見を聞いてほしい、友達の意見を聞いて新たな発見がある、自分の意見に自信を持てる、そういった気持ちを増やしていきたい。「聞きなさい」ではなく、「聞きたくなる」を目指したい。(校長)
- 聞くためには伝えたいと思うことと、それを表現できることが必要。自信をもって自己表現をし、自分の主張を発信できる子供が増えるといい。(杉山委員)
- 自分の意見があっても、それが人と違う意見だと自分の意見を否定された気持ちになってしまう子もいると思う。いろんな意見があってもいいし、みんなの考えを組み合わせると更に良いものができると感じられるようになると、発言しやすくなると思う。(高木委員)
- 東小は、自分の意見を伝えたいという気持ちを持っている子が多い印象である。自分の考えを発信するだけでなく、友達の考えに耳を傾けることができたならもっと良くなるのではないかと感じる。(教頭)
- みんなが聞いてくれると分かれば、発言がしやすくなる。意見に対して肯定的なことでも否定的なことでも、どれも受け入れてもらえる安心感があることが理想であり、そういった学校・学級風土を目指している。(校長)
- 高学年になるほど自分から進んで発言することが減っていく傾向があるのは残念だ。言葉によるいじめなどは減りそうだが、なんとかならないものか。(今中委員)
- 高学年になって周りが見えるようになると、自分の意見が周りにどう思われるかと気にするようになる傾向が強いと感じる。(教頭)
- 思春期になると周りの目が気になるのは、子供の成長過程としてどうしても仕方のないことである。お互いを認め合う学級風土を目指す中で、学校では言いたいことを言えると感じられるようになったらとても良いと思う。(高木委員)
- クラスになじめない子供のために逃げ場があることは大事だと思う。保健室がその場であってもいいと思う。どんな子であっても、それを個性だと認めることが大切である。(杉山委員)
- 集団の中で個性を認めて、どんな子でも安心して過ごせる環境を作っていきたい。(校長)
- 放課後児童会では、子供たちの夢について聞くことが増えてきた気がする。新しい係の話を進んでしてくれたりするのを見ると、子供たちも少しずつ変わってきているように思う。保健室で過ごすことが多い子の保護者と話す機会もあるが、焦らず見守ることが大事だと伝えている。(中川委員)
- 自分が子供だった頃を思い返すと、高学年になると発言がしにくくなる気持ちは分かる。(佐原委員)
- アンケートを見ると、子供の自分への評価が全体的に高いので、自己肯定感が高い子供が多いと感じた。(竹山委員)

○ 学校支援コーディネーターからの報告

5・6年生家庭科のミシン指導補助ボランティアとして、10名の方にお手伝いいただけることになった。

○ オブザーバーより

運営協議会での討議内容を教師間でどのように周知するかは、どこの学校でも課題となっているようだ。

クリエートの夏祭りや夏の講座にもたくさんの小学生が参加してくれた。今後は冬祭りも控えているので、引き続き子供たちを見守っていきたい。

○ その他

司会から、次回会議は、令和7年2月13日（木）午前9時から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。

次回議長については、委員から杉山議員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。